

LPWA で設置場所の温湿度情報を Sigfox 基地局へ送信できる

## 屋内用 温湿度センサー端末 (Sigfox 通信用) を新発売！

マスプロ電気は、設置場所の温湿度情報を Sigfox 基地局へ送信できる屋内用 温湿度センサー端末 (Sigfox 通信用) **SGTHA** を2月上旬より発売します。



屋内用 温湿度センサー端末 (Sigfox 通信用)

### SGTHA

外観寸法 : 67 (W) × 176 (H) × 29 (D) mm (アンテナ、キーリング含む)

質量 : 約 85g (乾電池含まず)

使用温度範囲 : -20 ~ +50°C

使用電池 : 単3形リチウム電池 (1.5V) × 2本

※電池は付属していません

製品名	型式
屋内用 温湿度センサー端末	SGTHA

## ■製品特長

### ●遠隔地から温湿度情報を確認可能

本器は温湿度情報を Sigfox 基地局へ送信できる温湿度センサー端末で、取得情報を遠隔地で確認できます。温湿度情報の送信間隔を15分、30分、60分、120分から選択でき、温湿度計のように壁にかけただけで簡単に使用することができます。



### ●パソコン不要で情報を送信

測定した温湿度情報をパソコンなどを介さずに管理サーバーへ情報送信ができます。また、いつでも設置場所の温湿度情報を確認できます。

#### システム例



### 【お問合わせ先】

〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納 80

インターネットホームページ [www.maspro.co.jp](http://www.maspro.co.jp)

報道関係者様 広報部 三輪・山口 TEL (052) 802-2226

お客様 IoT 営業部 TEL (052) 802-2210

TEL (03) 5434-8456

※1 別途、Sigfox 通信契約が必要です。  
 ※2 別途、web サービスを発売予定です。

電波で未来を考える

＝マスプロ電気＝

## ■開発の背景と意図

近年、ネットワークインフラの普及により、IoT が進展しさまざまなモノがインターネットを介してつながる動きがあります。そういった動きの中、市場では美術館などの施設の温湿度管理やガスの検針、有害獣用罠の動作確認など、離れた場所にある情報を、ランニングコストを抑えて長期間安定的にモニタリングしたいというニーズが高まっています。

マスプロ電工が今回開発した屋内用 温湿度センサー端末(Sigfox 通信用) **SGTHA** は、電源工事不要で設置場所の温湿度情報を Sigfox 基地局へ送信するため、簡単に IoT を運用できます。これにより、美術館や工場など繊細な温湿度管理が求められる環境や、学校や職場などの熱中症対策、ホテルなどの厨房冷蔵庫の温湿度管理など、さまざまな用途に合わせての使用が可能です。

## ■その他の特長

### ●正確な温湿度測定のできる設計

高精度温湿度センサーを搭載しており、本体ケースのセンサー周辺は通気用のスリットを設けていますから、温湿度の変化に追従しやすい設計になっています。さらに、機器内部で熱を発生するような部品を使用していないため、正確な温度を測定することが可能です。

### ●電池駆動

屋内用 温湿度センサー端末 **SGTHA** で使用している、無線通信技術の LPWA(Sigfox 通信)は一度に送信できるデータ量は小さいものの、遠距離通信や乾電池で駆動する圧倒的な低消費電力を実現した新たな通信手段として注目されています。

本器は乾電池で駆動するため、電源工事が不要で設置場所を選ばず、ランニングコストを抑えて運用することができます。また、電池電圧情報も温湿度情報と合わせて送信しますから、電池寿命<sup>\*</sup>の確認も遠隔で行うことができます。

<sup>\*</sup>約 15 分間隔で温湿度情報を送信した場合、電池寿命は約 1 年を想定